協会ニュース

令和４年度　第５回理事会の開催

第５回理事会を令和４年12月１日㈭リジェール松山で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　第11回定時総会について

事務局より資料に基づき、総会内容等について説明があり、その旨準備することで承認された。

⑵　新規会員加入及び退会の承認について

事務局より資料に基づき、１社の退会及び１社の業態の変更（中間処理の廃止）について報告があり承認された。

２．報告事項

⑴　委員会等報告

事務局より資料に基づき、第３回企画広報委員会では「えひめの資源循環第15号」の企画編集、新年名刺挨拶広告及び来年の表紙のテーマ等について審議された旨、第４回総務委員会では本日の理事会へ提出する議題について審議された旨報告があった。

⑵　全産連報告

事務局より資料に基づき、第63回理事会、第１回中間処理部会運営委員会、第２回安全衛生委員会、第１回医療廃棄物部会運営委員会、第２回処分場早期安定化分科会及び第１回再生土木資材分科会の審議結果について報告があった。

⑶　その他

新年名刺挨拶広告を理事・監事及び青年部会長へお願いしたこと、今年度の県外視察研修については九州方面へ12月22日～23日の日程で実施すること、シェイクアウトえひめに併せて12月19日に情報伝達訓練を実施すること、11月９日に海ごみ撤去活動を実施したこと及び今後の行事予定等について報告があった。

令和４年度第６回理事会　３月20日㈪
監査会　４月12日㈬
令和５年度第１回理事会　４月20日㈭
第11回定時総会　５月29日㈪

協会ニュース

令和４年度　第４回総務委員会の開催

第４回総務委員会を令和４年12月１日㈭協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　理事会提出議題について

事務局から、12月１日に開催する理事会の提出議題について以下のとおり説明があり、理事会提出議題として承認された。

①　第11回定時総会について

資料に基づき、令和５年５月29日にエスポワール愛媛文教会館で開催するように準備をする。

②　新規会員加入及び退会の承認について

資料に基づき、１社の退会と１社の業態変更について報告があった。

協会ニュース

令和４年度　第３回企画広報委員会の開催

第３回企画広報委員会を令和４年11月９日㈬、協会会議室で開催した。

１．議　題

⑴「えひめの資源循環」第15号（11月号）企画編集について

- 表表紙写真　盛口のコミカンに決定
- 裏表紙写真　②長浜大橋の写真に決定
- １週間以内に修正等を連絡する。

２．ホームページについて

⑴　アクセス解析について

- ５月30日のアクセスについて（この日のみ3000近くアクセスがあった件）はリファラースパムによるものでアンドグロウ㈱により対処済み
- アクセス解析について（７月～９月）前年度対比の報告。

⑵　会員専用ページ「災害協力等」の更新について

- 新規会員の方が見てもわかるように資料のとおり詳細を掲載する。

３．その他

⑴　新年名刺挨拶広告について

- 例年同様に理事・監事と青年部会に依頼する。

⑵「えひめの資源循環」第16号（新年号）からの表紙について

- 表表紙…テーマ「えひめの駅」
  - １月号　松山駅　撮影者（富久委員）
  - ５月号　松山市駅　撮影者（西村委員）
  - ８月号　新居浜市の駅　撮影者（桑原副委員長）
  - 11月号　南予の駅　撮影者（濱口委員長）

  写真の説明文も考えてくる。
- 裏表紙…テーマは決めず各委員が撮影した写真の中から決める。
  - １月号　八幡浜市権現山の風景　撮影者（富久委員）
  - ５月号以降　各自１枚撮影してくる。

⑶　次回委員会の開催日について

- 令和５年１月12日㈭13：30～
- 編集後記…全員

協会ニュース

令和４年度　松山市受託産業廃棄物処理実務者研修の開催（産業廃棄物処理業者研修事業）

松山市受託の産業廃棄物処理業者育成事業である産業廃棄物処理実務者研修を、専門の講師を招き松山市の産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催しました。

○　産業廃棄物処理実務者研修

開 催 日　令和４年11月４日㈮

開催場所　リジェール松山（JA愛媛）

受講者数　52名

研修内容

①　開講挨拶

②　講義

「産業廃棄物の基礎」

（講師　全産連選任講師　岩田　隆 氏）

「松山市からの情報提供」

1)　産業廃棄物の事業場外の保管について

2)　適正な産業廃棄物の処理について

（講師　松山市環境部廃棄物対策課）

協会ニュース

令和４年度　優良産業廃棄物処理業者育成研修の開催

愛媛県からの受託事業である優良産業廃棄物処理業者育成研修会を、専門の講師を招き産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催しました。

○　**産業廃棄物経営戦略研修**

開 催 日　令和４年12月１日㈭
開催場所　リジェール松山
受講者数　66名
研修内容
①　開講あいさつ
②　講義　「プラスチック資源循環促進法をビジネスチャンスに」
（講師　芝田総合法律事務所　代表弁護士　芝田　麻里 氏）

○　**処分業維持管理研修**

開 催 日　令和４年12月13日㈫
開催場所　リジェール松山
受講者数　67名
研修内容
①　開講あいさつ
②　講義　「石綿含有建材事前調査の概要及び留意点について」
内容　○令和２年石綿関係法改正について
　　○書面調査及び現地調査の留意点について
（講師　（一社）日本アスベスト調査診断協会
　　副理事長　椿本　明仁 氏）
　　「石綿含有建材の産業廃棄物処理業者としての処理方法等について」
（講師　（公社）全国産業資源循環連合会
　　専任講師　岩田　隆 氏）

協会ニュース

2022年度産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会の開催について

廃棄物処理法に規定された産業廃棄物処理業の許可申請等に必要な専門的知識・技能の修得のため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが毎年実施している講習会が、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、パソコンで講義動画を視聴して受講し、会場で試験を受ける２段階形式により開催されている。

なお、愛媛県の試験は松山市の愛媛県県民文化会館２階真珠の間で以下のとおり開催された。

試験日時		講習会（課程）	受講者数
2022年７月28日㈭	午前	産業廃棄物の収集・運搬課程（新規）	73
	午後	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）	73
2022年７月29日㈮	午前	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	64
	午後	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）	66
2022年10月19日㈬	午前	産業廃棄物の処分課程（新規）	45
	午後	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）	41
2022年10月20日㈭	午前	産業廃棄物の処分課程（更新）	47
	午後	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）	19
2022年10月21日㈮	午前	特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（新規）	39
	午後	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	73
2022年12月７日㈬	午前	産業廃棄物の収集・運搬課程（新規）	68
	午後	特別管理産業廃棄物の処分課程（新規）	14
2022年12月８日㈭	午前	産業廃棄物の処分課程（更新）	34

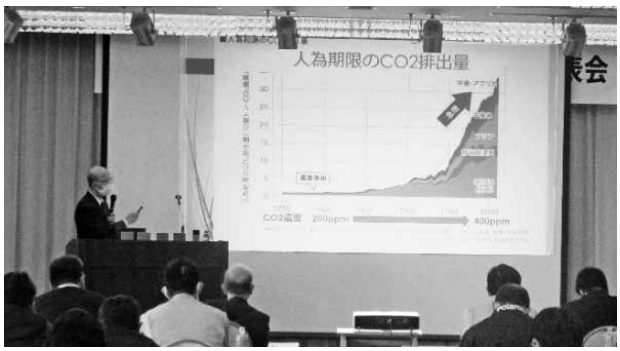
協会ニュース

３Ｒシステム事業化促進支援事業成果発表会

協会では、愛媛県産業廃棄物処理業資源循環促進支援事業の助成を受け会員企業に対して研究・開発等事業や技術・設備導入事業に最大500万円の補助を行っておりますが、令和３年度の成果について、11月８日（火）にリジェール松山「クリスタルホール」において36名が参加して「３Ｒシステム事業化促進支援事業成果発表会」を開催しました。

西山会長のあいさつの後、基調講演として、３Ｒ活動推進フォーラムの伊藤事務局長から「循環型社会の形成を目指して～プラスチック新法の意義と産廃業者の役割～」と題して、地球温暖化の進展などプラスチック新法制定の背景や、法律の意義と役割、「ごみゼロ」を実現させるための循環経済（サーキュラーエコノミー）形成に欠くことができないリサイクラー（産廃業者）の役割とビジネスチャンスなどについてご講演がありました。

その後、令和３年度の事業成果について、有限会社ジー・シー・オーの「過熱水蒸気によるリサイクル事業化技術研究開発」、株式会社Ｅ-システムの「有機性汚泥処理能力向上に係る研究・開発事業」及び株式会社イージーエスの「使用済み電池等からの資源評価とリユース検討」について成果発表がありました。



資源循環促進税活用事業

協会ニュース

令和４年度　四国八十八箇所遍路道清掃活動実施報告

令和４年度の四国八十八箇所遍路道清掃活動については、愛媛県東予地方局不法投棄防止対策推進協議会（愛媛県、市町及び関係団体で構成）と協会の共催事業として以下のとおり海ごみ撤去活動を実施しました。

１　日　時　令和４年11月９日㈬
　　14：00～15：00
２　場　所　四国中央市土居町津根八日市海岸
３　参加者　67名
　（一社）えひめ産業資源循環協会会員、
　青年部会員、事務局　　48名
　東予地方局不法投棄防止対策推進協議会
　　19名
４　内　容

四国中央市土居町津根八日市海岸の排水機場近くの堤防道路に集合して、東予地方局不法投棄防止対策推進協議会のメンバーとともに（一社）えひめ産業資源循環協会の啓発のぼりや四国地域協議会の啓発横断幕を掲げて清掃活動を実施しました。

排水機場付近の岸壁とテトラポットの間に不法投棄されているごみをプラスチックや金属類などに分別しながら回収し、撤去活動を行いました。

回収したごみ約640㎏（可燃物540㎏、不燃物100㎏）は、四国中央市生活環境課で処分しました。

四国の青い海を守り
みらいにつなごう!
Plastics Smart
一般社団法人
えひめ産業資源循環協会

協会ニュース

情報伝達訓練の実施

12月19日、当協会は愛媛県が実施する「シェイクアウトえひめ」に合わせて以下の内容で情報伝達訓練を行いました。

正会員の373名に対し情報伝達訓練を実施した結果、266名（71.3%）の方にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。来年も実施いたしますのでご協力をお願いいたします。

令和４年 12 月 19 日東南海地震により愛媛県内で甚大な被害が発生しております。

つきましては、協会員の被災状況を把握したいので、下記にご記入の上協会までＦＡＸで直ちに回答下さい。

（被災状況及び支援可能性の内容は架空で構いません。）

（回答）

えひめ産業資源循環協会　行き　（FAX　089-986-3451）

会 員 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受信確認日時 ＿＿年 ＿＿月 ＿＿日 ＿＿時 ＿＿分

被災は有りますか　　被災有り　・　被災無し

市町に対して支援できますか　　支援可能　・　支援不可

（どちらかを〇で囲んでください）

（伝達事項等）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（参考）「シェイクアウトえひめ」とは

愛媛県は、えひめ防災週間（12月17日～23日）にあわせて、地震発生時の安全確保行動の確認や防災意識の向上を図るため、県下一斉に**「シェイクアウトえひめ（県民総ぐるみ地震防災訓練）」**を12月19日（月）に実施します。

この訓練は、その場で

「⑴まず低く＝DROP!」→「⑵頭を守り＝COVER!」→「⑶動かない＝HOLD ON!」

の安全確保行動を約１分間行うもので、誰でも、どこでも参加参加することができます。

協会ニュース

令和４年度　県外施設視察研修

令和４年度の県外施設視察研修は、九州方面で、令和４年12月22日㈭及び23日㈮の２日間実施しました。視察先及び視察概要は以下のとおりです。

１　北九州エコタウンセンター
（エコタウン事業概要説明）

エコタウン事業は、1994年に国連が提唱した、資源の相互利用を通じてあらゆる廃棄物をゼロにすることを目指す「ゼロエミッション構想」に基づき、資源循環を通じて産業振興・地域活性化を進めた日本のプレジェクトで、北九州エコタウンは1997年７月10日に、通商産業省より第１号の承認を受けました。

北九州エコタウンは、南北2.5km、東西10km、約2,000haの広大な敷地に、リサイクル業を中心とした企業団地（総合環境コンビナート・響リサイクル団地）や、企業・行政・大学の連携により、最先端の廃棄物処理技術やリサイクル技術などを実証的に研究する機関が集まる実証研究エリア、響灘ビオトープ、17基の風力発電施設などが集積しており、産業廃棄物を他の産業の原料にし、最終的にはゼロエミッションを目指しています。
来年には太陽光パネルリサイクルが稼働するほか、洋上風力発電施設（2025年運転予定）や、古着リサイクルなどにも取り組むこととしています。

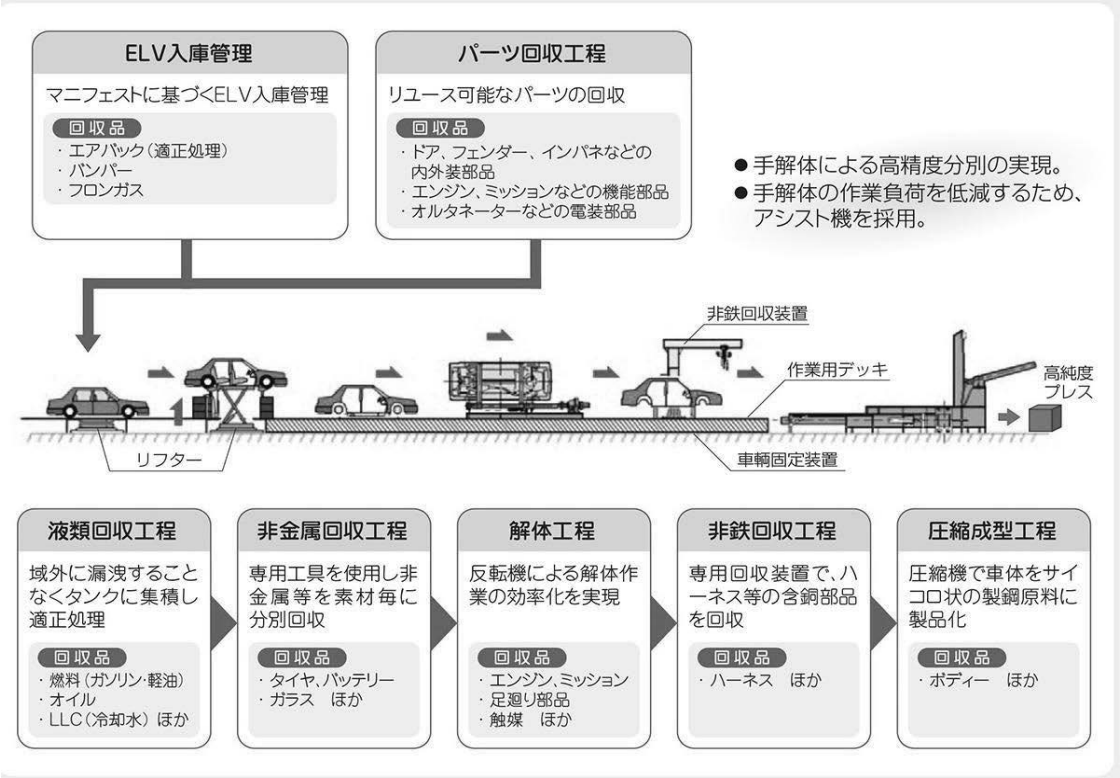
エコタウンセンターでは、エコタウンや次世代エネルギーパークの紹介、見学の受付や工場見学ツアーへの案内をしており、年間約96,000人の視察を受け入れています。

２　西日本オートリサイクル㈱
（自動車リサイクル事業）

西日本オートリサイクル㈱では、シュレッダーダストを発生させないという理念の下、自動車を製造する際の順番と逆の工程で解体作業を実施しています。〔①液類の回収→②タイヤ・バッテリー・ガラスなどの非金属の回収→③油圧カッターを用いた解体→④配線等を引き抜く非鉄回収工程→⑤圧縮成型〕

１台の処理に要する時間は約45分で、１日30台程度の自動車を解体しています。解体後は下の写真にあるとおり60cm四方の金属塊にまで圧縮されます。

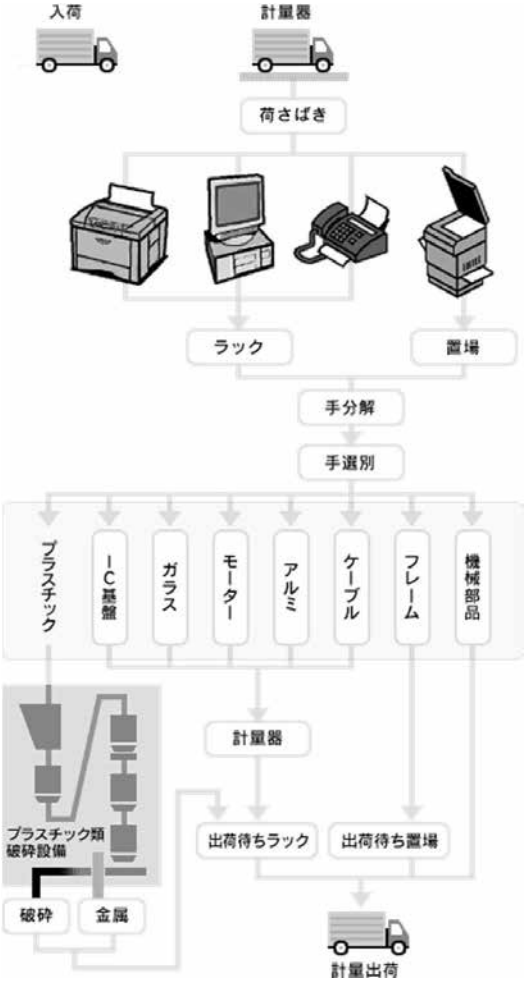
回収した燃料は工場内の重機等で使用するほか、ドアやバンパー等で再利用可能な部品はディーラーに販売しています。



３　㈱リサイクルテック
（ＯＡ機器リサイクル事業）

㈱リサイクルテックは、複写機、プリンター、ファクシミリ、パソコン等のＯＡ機器を手分解・手選別により再資源化し、新たな機器の部品、材料として提供しています。複写機5,000台から１tの基盤が取れ、そこから100ｇの金が回収できるとのことです。

また、廃太陽光パネルのリサイクルにも取り組んでいます。



４　その他

12月23日㈮には、日田市にある㈱ジェイアンドダブルトレーディングの亜臨界処理装置実証プラントを視察する予定でしたが、寒波による積雪で高速道路が通行止めとなったため、残念ながら視察することができませんでした。できれば来年度以降に再度検討したいと思います。